



森ボラ 通信

第138号 2013年11月20日発行
NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆ 九大演習林研修旅行に参加して「森のことは森に聞け」

去年は十周年記念行事で見送られた研修旅行、今年は19名のサムライが参加して10月2,3,4日にわたりオンネトー、足寄、十勝三股、層雲峡などをまわってきました。

1日目は朝8時JR札幌駅愛の鐘広場に集合、会費を払い専用バスに乗り山又山の山岳高速を走りぬけ、松山千春を看板とした道の駅足寄銀河ホール21に到着。各自昼食。午後は麓で有名な螺湾と言う酪農地帯を過ぎ砂利道の行き止まりが湯の滝駐車場。ここから1.4kmのエゾ松の巨木を中心とした曲がりくねった散策路、きの

こを探しつつ滝に到着。お湯は岩を伝って流れ落ち滝つぼでは悪名高いテラピアが歓迎してくれました。ここは細菌により酸化マンガンが自然生成される世界でも貴重な所です。

七色に変わる小さなオンネトー、その向こうには雌阿寒岳と阿寒富士がはっきりと見えました。標高700mから山頂が見えるるとつい登りたくなります。宿近くの赤エゾ松の原生林を見に行くが厳しい登山道に阻まれリタイア続出で、1合目で断念となりました。秘湯の湯国民宿舎野中温泉で夜を迎えました。外は雨です。



2日目は研修メインの足寄町にある九州大学農学部附属北海道演習林見学です。硫黄臭い朝風呂に入り朝食後国道240号線を走り事務所着。完成間も無い自慢の総カラ松造りの研修棟に案内され久米林長から各大学演習林の実情や足寄演習林の歴史と概要を聞きました。ここはs24年旧陸軍軍馬補充部用地の一部約3,700haが大蔵省より所管替えを受けて創設されました。これに似たケースは十勝や日高にたくさんあります。

小型バスに乗り早速林内見学。いくつものゲートを開け凸凹の坂道を登り下りバスを降り久米准教授がわかりやすく説明してくれました。ミヤコ笹の地面から伸びるドロノキの仲間エゾヤマナラシを例に根萌芽の話を知りました。実生ではなくワラビ同様地下茎が伸び先端から発芽して成長するものです。シウリザクラをはじめこの仲間は多いそうです。

ここでは1972年からミズナラ150年計画という気の長い研究実験が行われていました。細胞式舌状皆伐作業法と名づけ毎年1区画づつドングリの種を播き150年を経て材にするもので間伐機能は

自然淘汰にまかせるそうです。木材は成長期間がそのまま利用可能期間です。200年かけて育った木は200年間使えるのです。

お昼は平屋のログハウスです。午後からは松の実生実験や60年を過ぎた美林を観察しました。

演習林以前は炭焼きが盛んで山火事も多くそれで天然更新されていたようです。見学後は鉄パイプで組み建てられた樹冠観察塔に登り強風に吹かれて樹海景観を見ていると人を寄せ付けない自然の厳しさを思わせます。足寄の町がおとぎの世界です。

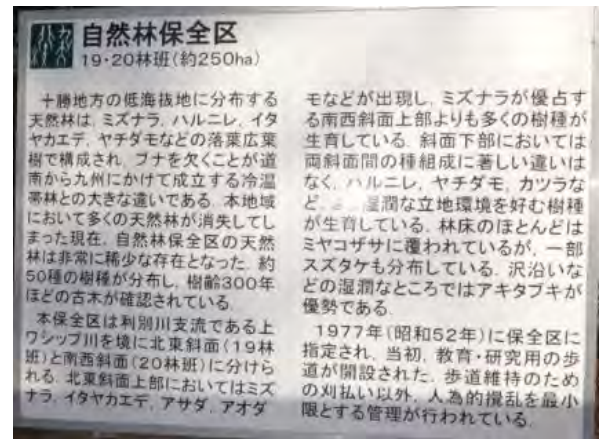
演習林におけるフィールド科学研究はひたすら自然に向かうことのようにです。生命体としての森自身は何を語っているのか。森のことは森に聞くしかありません。

夕食は事務所内食堂で懇親会も兼ねてお世話になった久米林長を囲みハイ松研究の一端を聞きました。酔い覚めに外にでると星が光っています。夏の白鳥、カシオペア、ペガサスなどが楽に見えました。札幌での1等星がここでは3等星です。隣は銀河天文台です。

3日目は足寄を出て上士幌から国道273号線を北上し、旧士幌線の橋梁遺産を眺め東大雪博物館をのぞき糠平ダムを過ぎイタヤカエデの実を拾い十勝三股で当時をしのび大古の原生林をくぐり1,139mの三国峠を下ると石狩川の源流です。柱状節理の層雲峡を抜け上川町で昼食。ここからは高速道路に入り居眠りしているうちに札幌に到着。天気にも恵まれ楽しかった研修旅行も無事に終わりました。

早くからコースや宿その他諸々の準備をして幹事の方々本当にありがとうございます。

(文・加藤)



■ 活動報告

◆ 「ナメコがたくさん採れました」

昨年春にはシイタケが大量に発生して、秋の10周年の頃にはボリボリがたくさん採れました。今年はシイタケの春子は全く発生を見ず、秋のボリボリもほとんど採れませんでした。

しかし10月18日澄川にはキノコの期待もあり19名が活動に参加してついにナメコがたくさん採れました。クリタケも発生してムキタケもたくさん採れました。

話しは別ですが昨年あれだけ拾えたミズナラのドングリも今年は全く不作です。森の恵みは気まぐれでもあります。(文・酒井)



◆ 指定母樹

今年の秋はドングリは不作でしたが、たくさんの皆さんにいろいろな種を拾っていただき10月25日、26日支笏湖鳥柵舞の森復興の森に直播することが出来ました。

広葉樹には母樹指定制度がないのでどこから種は拾ってきてもよいのですが将来は協会指定の精英樹を決めて採取すればDNAの遠隔地拡散のそしりも受けず、安定した種の入手が可能になると思います。その第一号になるかもしれない試験をしましたので活動記録としてここに残します。

実際に種を拾ってくれた方は実感されていますが木の種は草むらに落ちると虫に食われ、ネズミ

に食われ1週間もすれば翼も崩れ人の目では識別できなくなります。私たちは種苗業者ではないので枝は折りたくありません。
(文・酒井)

写真1：支笏湖復興の森植栽地の、台風にもめげずに残った美しい樹形のイタヤカエデです。2013年9月26日シードトラップ代わりに4mmメッシュの寒冷紗2k×3k/2枚を掛けました。

写真2：10月26日約200個の種を採取できました。樹上にはまだ実がたくさん成っているが今季もう来れないので撤収しました。



写真2



写真1

◆ 第10回道民森づくりネットワークの集い2013に参加して

10月19日(土)道庁赤レンガ前庭で開催され、ボランティア団体等の約30張りのテントブースが処狭ましと立ち並び、活動の成果が披露されていました。

我が協会員9人は日々の活動の一端をパネルで紹介すると共に、今年から子供達を対象にコースター作りのコーナーを設けました。子供達がノコで切易い材として、直径10cmほどのシナノキ、ホウノキを、高学年用には堅いイタヤカエデを準備しました。親子連れの子供をターゲットに積極的に呼びかけ1cmぐらいに切って貫いグラインダーを掛けた後、北海道森林ボランティア協会のエンブレム HFVA(Hokkaido Forest Volunteers



Association)の焼印を押して完成させ差し上げましたが、子供達が自分の手で作ったコースターを大事そうに握り締めるしぐさはとても印象的でした。又外人の来場者も目立ちノコギリを楽しんでくれました。

杉本ご夫婦作成の杖や小物賭けそして会員が集めてくれたクルミのプレゼントにも頬をほころばせ“有難う”の言葉が我々に勇気を与えてくれました。

今回の参加に当たっては少しだけ積極的に来場者と一緒に楽しむ事を念頭に遣って来ましたが、来年は更に工夫を凝らし充実感を持って楽しく遣って行きたいと思ひます。

(事務局)



■ 今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・酒井・高野・釣井・西野(梯)・矢澤・和田

1. 2013年12月、2014年1月スケジュール・・・ 幹事会 2014年1月6日(金) 14:30から
2. 第二回理事会活動報告読み合わせ・・・前期事業報告と会計報告、森ボラ協議会の確認
1月25日(月) 15:30~16:00 アークス本社 2F 会議室
3. 社会貢献賞受賞の検討・・・授与式：12月17日(火) 10:30 KKR札幌ホテル・丹頂(5F)
祝賀会：2014年1月20日(月) 札幌パークホテル
4. 忘年会の件(12月11、12日) 湯元 小金湯・・・11月末日まで参加者募集
5. 委員会報告
 - ・広報委員会(11月号ボラ通原稿他)
 - ・業務委員会(基本計画室)
 - ・研修委員会(12月会員例会とセミナーは“ブナ”の話)⇒12月作業参加申込書参照
6. 環境林基本計画室・・・名称：澄川環境林基本計画プロジェクト
メンバー： 和田、樫棒、大窪、市山
7. その他
 - ・会計報告、斉藤リンゴ園の支援10周年の対応、
 - ・新入会員紹介：長岡 里奈さん(杉本さんのご紹介で入会)

■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
10月16日(水)	澄川/リンゴ園	5/4	林内整備/収穫
10月17日(木)	リンゴ園	1	収穫
10月18日(金)	澄川	20	林内整備・道民森づくり準備
10月19日(土)	道庁赤レンガ前広場	9	道民森づくり(写真展示とコースター作り)
10月20日(日)	澄川/石狩市	1/2	森づくり片付け/クマゲラ10周年参加
10月22日(火)	有明/澄川	7/2	林内整備/林内整備
10月23日(水)	リンゴ園	8	収穫
10月24日(木)	澄川	16	林内整備・烏柵舞の準備
10月25日・26日	支笏湖 烏柵舞の森	15/15	植樹祭準備/オイスカ・ユネスコ植樹祭
11月1日(金)	澄川	12	林内整備
11月5日(火)	有明/澄川	8/8	林内整備
11月6日(水)	リンゴ園	8	収穫(今年度最終作業)
11月8日(金)	澄川	4	リンゴ園にチップパー移送
11月12日(火)	ラルズビル	10	定例幹事会
11月15日(金)	澄川	15	林内調査

■ お知らせ

我が協会は森を守り緑に親しむ功労者として、平成25年度北海道社会貢献賞を頂くことになりました。一方、別途、受賞に伴う祝賀会を企画しました。協会として受賞を祝いたいと思います。

1. 「北海道社会貢献賞」授与式：出席者 酒井、荻田、市山
平成25年12月17日(火) 10:30~11:30・KKR札幌ホテル5F・丹頂
2. 祝賀会：平成26年1月20日(月) 18:00~20:00・札幌パークホテル・会費5,000円
参加申込は12月作業参加申込書でお願いします。
発起人：荻田雄輔、大窪健一 (*祝賀会詳細に付きましてはボラ通12月号でご案内します。)